



平成 26 年 7 月 30 日

各 位

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷四丁目 3 番 25 号
会 社 名 A G S 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 小川 修 一
(コード番号：3648 東証第一部)
問 合 せ 先 企 画 部 長 及 川 和 裕
(TEL. 048-825-6079)

経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2012 年 7 月に 10 年後を見据えた長期ビジョンを定め、2012 年度から 2016 年度までの 5 年
間を期間とする経営計画を公表いたしました。重点施策ならびに計数計画の最終年度の経営目標につ
いて、見直しを行うことといたしましたのでお知らせいたします。

経営計画策定後 2 年が経過し、市場環境や当社グループの現状は策定当時から変化が生じているた
め、今般、経営計画の一部を下記の通り見直しました。今後とも、本経営計画に基づいた取組みを推進
し、計画達成に向けて邁進してまいります。

記

【経営計画「Challenge2021」見直しの概要】

項 目	現経営計画	見直し後
(1)長期ビジ ョン	「当社グループは I T サービスの高度化を追求 し、データセンターを基盤としたアウトソーシ ング分野においてトップクラスの企業となる」	変更なし
(2)経営計画 骨子	本経営計画は、経営目標である「持続的に成長可 能な経営基盤の構築」の更なる前進を図るべく、 当社グループ一丸となって、中長期的な「競争力 の強化」にこだわり、新規事業・サービスの創出、 既存サービスの改善、業務効率化など事業構造の 改革に「挑戦 (challenge)」し、当社グループを 成長軌道へ確実に乗せて行くファーストステー ジとする。	変更なし
(3)計画期間	2012 年度 (平成 24 年度) から 2016 年度 (平成 28 年度) までの 5 年間	変更なし
(4)重点施策	① データセンタービジネスの強化・拡大 ② S I ビジネスの変革 ③ 営業力強化 ④ 競争力強化に向けた人事施策の推進 ⑤ 新規事業の創出および新規市場の開拓 ⑥ コーポレートガバナンスの充実と C S R 活動 の推進	① 変更なし ② 変更なし ③ 営業戦略の拡充と実効性の向上 ④ 変更なし ⑤ 変更なし ⑥ 業務改革による企業風土の変革 と C S R 活動の推進

〔重点施策補足〕

⑥業務改革による企業風土の変革とCSR活動の推進

長期ビジョン実現に向けた目標の一つである東証一部上場の早期達成により、今後はコーポレートガバナンスを高度化しつつ、景気回復に伴うビジネスチャンスをつかえた売上の拡大、経営の効率化による利益の増大に一層注力すべく、グループ会社間の連携を一層強化するとともに、社員自らが効率的な業務遂行に資する改善を図っていく企業風土への変革を図ってまいります。

【連結計数計画】

(単位：億円)

	現長期経営計画 2016年度 (平成28年度) 計画	2013年度 (平成25年度) 実績	見直し後		
			2016年度 (平成28年度) 計画	2013年度(平成25年度)比	
				増減額	増減率
売上高	183.0	162.2	185.0	22.8	+14.1%
営業利益	13.0	5.7	10.0	4.3	+75.4%
経常利益	13.0	6.5	10.1	3.6	+55.4%
当期純利益	7.8	2.2	6.5	4.3	+195.5%
営業利益率	7.1%	3.6%	5.4%	+1.8P	—

景気回復に伴うビジネスチャンスをつかえた各種施策の推進や人件費を中心とする販管費の増加等を勘案し、計数計画の一部を見直しました。

※上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上